

# 議員派遣報告書（閲覧用）

令和6年8月22日

岐阜県議会議長 様

岐阜県議会議員 森 正弘  
岐阜県議会議員 佐藤 武彦

下記のとおり議員派遣業務が終了しましたので、報告します。

## 記

派遣目的	ウズベキスタンにおける、自治体間交流や大学間連携の推進に係る事情調査及びドイツにおける、健康寿命の延伸に向けた質の高い健康づくりや地域資源を活用した観光誘客施策の事情調査を行い、今後の本県の政策立案に役立てる。
行程表、派遣成果	別紙のとおり
県政に活用できる事項	
県担当課	内 容
国際交流課	自治体間の交流に関すること（ウズベキスタン）
保健医療課	「クアオルト」施策に関すること

ウズベキスタン・ドイツ訪問日程 [7泊8日]

日	月日	現地時間	日本時間	スケジュール	滞在地	ホテル
1	7月19日 (金)	13:00 16:35 20:20	11:05	中部国際空港発 (0Z121便 所要時間: 1時間55分) ソウル・仁川空港着 ソウル・仁川空港発 (0Z573便、所要時間: 7時間45分) ウズベキスタン・タシケント空港着	タシケント	インスピラス タシケント
2	7月20日 (土)	7:24 9:37 10:00 12:00 16:00 17:37 19:53		タシケント中央駅発 (新幹線アフラシアブ号) サマルカンド着 市内視察 (レジキスタン広場等) サマルカンド州政府知事との面談・昼食懇談 サマルカンド州立医科大学訪問 サマルカンド発 (新幹線アフラシアブ号) タシケント中央駅着	タシケント サマルカンド タシケント	インスピラス タシケント
3	7月21日 (日)	9:00 調整中 調整中		タシケント市内視察 (日本人墓地、ナヴォイ劇場、バザール等) タシケント州知事との面談 政府関係者 (環境大臣) との面談	タシケント	インスピラス タシケント
4	7月22日 (月)	5:45 9:40 14:00		ウズベク・タシケント空港発 (HY231便 所要時間: 6時間55分) ドイツ・フランクフルト空港着 クアオルト視察 (パーデンパーデン)	タシケント フランクフルト	マリティム・ フランクフル ト
5	7月23日 (火)	9:00 10:00 12:00 15:00 16:00		ライン川観光関係者による施策説明 (ラインモーゼルホール) コブレンツ市内視察 (ドイツの角、エーレンブライトシュタイン城塞) コブレンツ市長、城塞代表者との面談 バートナハイム市長との面談 クアオルト調査 (パートナーハウハイム)	フランクフルト	マリティム・ フランクフル ト
6	7月24日 (水)	10:00 11:00 12:00 14:00		バートキッシンゲン市長との面談 クアオルト調査 (バートキッシンゲン: クアハウス) バートキッシンゲン市長との懇談 クアオルト調査 (バートキッシンゲン: ルーン病院、入浴施設)	フランクフルト	マリティム・ フランクフル ト
7	7月25日 (木)	19:50		ドイツ・フランクフルト空港発 (JL408便、所要時間: 13時間10分)	フランクフルト	機中泊
8	7月26日 (金)		16:00 18:30 19:40	成田空港着 成田空港発 (JL3087便、所要時間: 1時間10分) 中部国際空港着		

日本との時差 : -4時間(ウズベク)、-7時間(ドイツ)

## ウズベキスタン・ドイツ派遣報告書

### 1. 期 間

令和6年7月19日（金）～7月26日（金）

### 2. 視察先

ウズベキスタン（タシケント、サマルカンド）

ドイツ（フランクフルト、クアオルト）

### 3. 派遣の目的

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の一環としてウズベキスタン・ドイツを訪問する知事に同行し、以下の件について調査を行うことで、今後の政策立案に役立てるものとする。

#### 【ウズベキスタン】

自治体間交流や大学間連携の推進

#### 【ドイツ】

健康寿命の延伸に向けた質の高い健康づくりや、河川環境保護と地域資源を活用した観光誘客施策

### 4. 参加者

【県】 古田岐阜県知事、幅秘書課係長、水野議長、遠藤議会事務局総務課主査、  
小島観光国際部次長、酒井国際交流課長

【県議会議員】 佐藤、森（正）

【県職員】 安田国際連携推進監、藤田国際交流課係長、高桑国際交流課主査、  
古木国際交流課主査、丹藤健康福祉部長

### 5. 視察

次項より記載

## ■サマルカンド州内視察

時間：7月20日（土）10：00～11：55

場所：アミール・ティムール廟、レジスタン広場

相手：オイベク・カムラーエフ サマルカンド州副知事ほか

### 【概要】

サマルカンド州政府担当者の案内でレジスタン広場を視察しました。

ウズベキスタンの古都サマルカンドはシルクロードで栄えた都市です。13世紀にチンギス・ハンによって破壊された後、ティムールによって再建されています。多くの学者や職人が集められ、イスラム建築と芸術が溢れる都市として発展しました。その後、大陸間の移動の中心が海運に移っていくと、シルクロードそのものが重視されなくなり、サマルカンドも徐々に衰退していきましたが、サマルカンドの建築物と町並みはイスラム建築の傑作とされ世界文化遺産に登録され、今でもウズベキスタン国内はもちろん、海外からも多くの観光客が訪れています。町全体が美しい「サマルカンド・ブルー」で統一されていることも魅力的ですが、イベントの中心となっているレジスタン広場を中心として、町の中央に大通りが作られ、道路沿いに店舗が並んでいることが経済の発展につながったとの事で、大変興味深い視察となりました。



## ■ サマルカンド州政府知事面談・交流意向書調印式

時間：7月20日（土）12：00～13：00

場所：サマルカンド州政府庁舎

相手：エルキンジョン・トゥルディーモフ サマルカンド州知事、オイベク・カムラーエフ サマルカンド州副知事兼投資・海外貿易庁長官、フセン・トフタエフ サマルカンド州青少年政策・社会開発・精神啓発担当副知事、ジャスール・リザエフ サマルカンド国立医科大学学長、ルフッロウ・ジクリラエフ ウズベキスタン共和国投資産業貿易省国際部長  
ほか

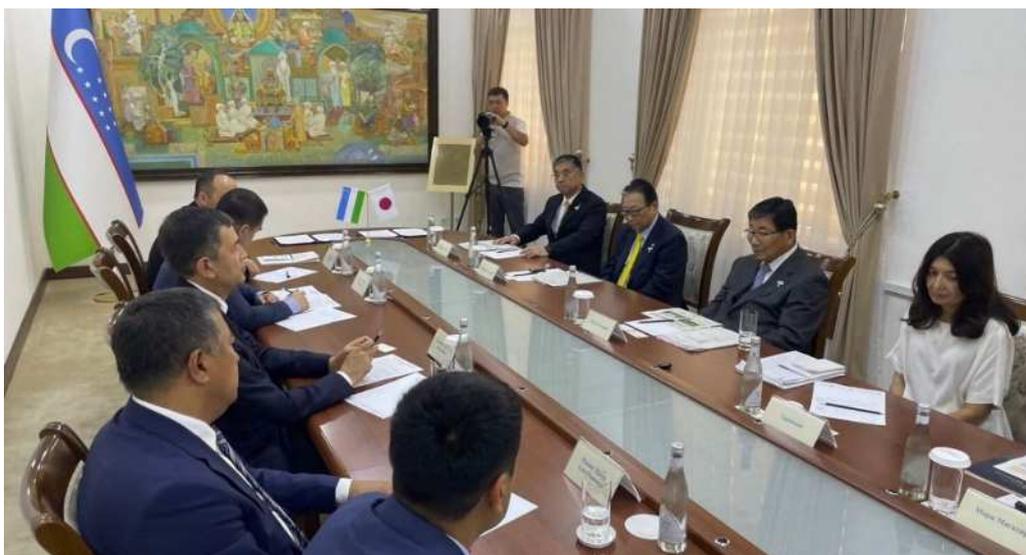
### 【概要】

サマルカンド州政府知事に面談し、交流意向書調印式に参加しました。

州知事は、発展の途上にあるウズベキスタンにとって、教育や研究、科学技術を重視することで発展を遂げた日本に敬意を示され、今後、相互往来を具体的に検討し、岐阜県との交流により多くを学びたい。と述べられました。

古田知事は、多くの方の支援によりサマルカンド訪問が実現したことに感謝を表し、帰国後、豊かな街・サマルカンドの魅力を190万県民にしっかり伝えたい。とお答えになりました。

今回の交流意向書調印式をきっかけに、両国の交流がさらに深まり、具体的な往来に繋がることを期待します。



## ■サマルカンド国立医科大学学長との面談及び意向書調印式

時間：7月20日（土）13：30～15：00

場所：サマルカンド国立医科大学

相手：ジャスール・リザエフ サマルカンド国立医科大学長、ガエラットジョン・エルムロドフ 同大学財務担当副学長、ザファール・アミーノフ 同大学国際担当副学長、ナルギザ・ヤルムハメドワ 同大学教育担当副学長、アジス・クバエフ 同大学科学担当副学長、ソビルジョン・ママラジャボフ サマルカンド国立医科大学国際関係学部長

### 【概要】

サマルカンド国立医科大学の学長に面談し、意向書調印式に参加しました。

リザエフ学長からは、昨年9月に岐阜県を訪問し吉田学長と面談したが、サマルカンドで再会でき大変嬉しい。岐阜大学との交流には大いに期待しており州県間の交流を深める意味でも、大学間交流の役割は大きい。と述べられました。

吉田岐阜大学学長は、サマルカンド来訪がようやく叶った。古田知事及び水野県議会議長の同席の上、大学間の意向書を締結することができ、大変喜ばしく思う。とお答えになりました。

古田知事からはチーム岐阜を迎えていただき感謝。両校の交流は、岐阜県とサマルカンド州との交流の大きな最初の一步。県としてもサポートしたい。と述べられました。

知事立ち合いの下、両学長が意向書に調印されました。

岐阜県とサマルカンド州、岐阜大学とサマルカンド国立医科大学の2層での交流に向け基本合意書等を取り交わすことができたのは大変有意義なことで、今後具体的な交流が進んでいくことを期待します。



## ■タシケント市内視察

時間：7月21日（日）9：20～10：30

場所：日本人墓地、ナヴォイ劇場

### 【概要】

タシケント市内各地（日本人墓地、ナヴォイ劇場）を視察しました。

日本人墓地は、ソビエト連邦統治時代にシベリア抑留により連行され、強制労働の末命を落とした旧日本兵計79名が眠るお墓です。現在もウズベキスタン人の墓守によって丁寧に管理されています。

ナヴォイ劇場は1947年に完成した現役のオペラ劇場で、建設には強制労働の旧日本兵が携わっています。1966年のタシケント大地震の際、ナヴォイ劇場だけが崩れずに形をとどめたとされ、旧日本兵達の質実な仕事ぶりを表す有名な逸話となっています。また他にも日本人が建てたダムや鉄道も地震で倒壊しなかったことは学校の教科書でも触れられ、日本人に対し尊敬の意を向ける方が多いとされています。戦争によって起きた不幸な出来事から過去の教訓を学び、平和を築く努力を続けていることに感銘を受けました。今後、両国の交流がさらに深まることを期待します。



## ■ウズベキスタン共和国生態・環境保護・気候変動大臣主催懇談会

時間：7月21日（日）13：20～15：40

場所：タシケント市内レストラン

相手：アジズ・アブドゥハキーモフ ウズベキスタン共和国生態・環境保護・気候変動大臣  
ほか

### 【概要】

ウズベキスタン共和国生態・環境保護・気候変動大臣主催の懇談会に参加しました。

知事は、前日のサマルカンド州訪問の成果を報告し、文化の交流として、早速、今年の秋に開催される国民文化祭で、サマルカンド州の観光地等を岐阜県民に紹介するイベントができないかと州政府へ提案されました。できれば具体的に相談したいと意欲を示されました。

大臣は日本に留学経験があり、流暢な日本語で、ウズベキスタンでは当省が観光も所管しており、ぜひ訪問団を派遣したい。今後もサマルカンド州、ひいてはウズベキスタンと良好な関係を築いていければ幸い。積極的にサポートしたい。と、前向きな意見を返されました。

10月に開会する国民文化祭への参加は大変良い契機であると考えますので、是非実現させ、両国の交流が、多方面に広がっていくことを大いに期待したいと思います。



## ■ウズベキスタン共和国高等教育・科学・イノベーション大臣との面談

時間：7月21日（日）16：00～17：20

場所：ウズベキスタン共和国 高等教育・科学・イノベーション省

相手：コンゴラットボイ・シャリポフ ウズベキスタン共和国高等教育・科学・イノベーション大臣、トフタシノフ・イルホム ウズベキスタン国立世界言語大学学長 ほか

### 【概要】

ウズベキスタン共和国高等教育・科学・イノベーション大臣と面談しました。

知事は、前日のサマルカンド州訪問の成果を報告し、サマルカンド州と岐阜県との交流における要は教育であり、まずは、サマルカンド国立医科大学の方に岐阜大学を見て頂きたいと述べました。

岐阜大学学長は、サマルカンド国立医科大学と研究者の相互訪問や次世代人材の育成をはじめ、5つの取組みを具体に行うことで合意したことを報告し、将来的には県内大学群として連携がとれるようになることを期待していると述べました。

大臣からは、ウズベキスタンでは優秀な経営者や幹部の多くが日本への留学経験を持っており、サマルカンド国立医科大学を皮切りに、他の大学についても、連携ができれば幸いと、前向きな意見を述べられました。

サマルカンド州、サマルカンド国立医科大学とそれぞれ交流意向書を交わすことができたことは大変有意義なことで、今後も協力して相互発展していくことを期待します。



## ■ドイツ・バーデンバーデン（クアオルト）の視察

時間：7月22日（月）14：00～16：15

場所：カラカラ浴場、クアハウス、トリンクハレ

### 【概要】

ドイツのハーデンバーデンを視察しました。

バーデンとはドイツ語で「入浴」という意味で、ローマ時代から温泉として人気があり、1985年に現在のような近代的クア施設がオープンしました。今でも多くの観光客を集めており、グループや家族も多いようです。1824年に設計されたクアハウスは浴場、カジノ、会議場などが一緒になった複合施設で、新古典主義風の豪華絢爛な内装が特徴です。また、トリンクハレはギリシア風の優雅な建物で、柱に囲まれた壁面には、黒い森地方の伝説をテーマにした14の美しい壁画が描かれるなど、高級リゾート地の雰囲気がよく出ていました。また療養施設としても充実しており、温泉が出る水道があるなど、高級温泉保養地として発展してきた点に多くの学ぶ要素があると考えます。



## ■コブレンツ市観光局との意見交換

時間：7月23日（火）9：45～11：15

場所：ラインモーゼホール

相手：カタリーナ・ベルシュ コブレンツ観光局観光部門責任者、ヨハネス・ブルッフホーフ コブレンツ観光局プロジェクト管理担当

### 【概要】

観光局との意見交換会を実施しました。

知事や美濃加茂市長、可児市観光協会会長等から、コブレンツ市の観光振興が成功している要因や観光政策の予算規模等について質問し、コブレンツ市観光局から、周辺地域と協力したマーケティングや街の緑化等による美しい景観等が成功の要因である旨の説明がありました。ライン川観光の拠点となっているコブレンツ市の取組は、木曾川中流域の岐阜県にとって多くの学ぶ要素があると考えます。今後も情報共有を続けることが、相互の観光振興の取組に重要であると考えます。



## ■コブレンツ市内（ライン川観光）の視察

時間：7月23日（火）11：30～12：10

場所：コブレンツ市内、エーレンブライトシュタイン城塞

相手：カタリーナ・ベルシュ コブレンツ観光局観光部門責任者、ヨハネス・ブルッフホーフ コブレンツ観光局プロジェクト管理担当

### 【概要】

コブレンツ市内を視察しました。

ライン川とモーゼル川の合流地点として有名なコブレンツ市はドイツで最も歴史ある都市の一つで、古くからヨーロッパの水上交通の要衝として発展してきました。古代ローマ時代の建物が現在でもきちんと管理されています。エーレンブライトシュタイン城塞が市街地の対岸にありロープウェイで上ることができます。また、ライン川沿いの丘の上には有料の展望台がありライン川とモーゼル川の合流点であるドイテス・エックを見渡すことができ、色が違う両川のコントラストを楽しむことができます。

2000年以上の歴史を持ち、独特な自然景観と歴史的建造物で国内外から多くの観光客が訪れています。清流を生かした観光振興を進める岐阜県にとって、コブレンツ観光局の取組は大変興味深いもので、学ぶ点が多くあると考えます。



## ■コブレンツ市長との面談

時間：7月23日（火）12：10～12：30

場所：エーレンブライトシュタイン城塞

相手：ウルリケ・モース コブレンツ市長、クラウス・ホフマン コブレンツ市観光局代表、  
アンドレアス・シュマウダー エーレンブライトシュタイン城塞代表 ほか

### 【概要】

コブレンツ市長と面談しました。

市長からの歓迎の意に対し、知事は、「同じ清流に育まれた両地域の間でコミュニケーションが始まったことをうれしく思う」と応じました。

情報発信などのコブレンツ市の観光振興の取組は大きな成果をあげており、岐阜県も学ぶ点が多くあります。今回の視察を通じて情報発信の重要性を再認識することができました。今後も更なる交流の深化をすすめることで相互発展していくものと大いに期待いたします。



## ■ バートナウハイム市長との面談

時間：7月23日（火）15：00～16：30

場所：バートナウハイム市庁舎

相手：クラス・クレス バートナウハイム市長、オリバー・フォン・マッソー 同市議会  
議長 ほか

### 【概要】

バートナウハイム市のクレス市長と面談しました。

クレス市長からは、有数の温泉地のある岐阜県とは共通点が多く、バートナウハイム市を視察先を選んでいただいたことは光栄。特にクアオルトのような医療ケア分野では他自治体との交流やネットワークが重要であると述べられました。

知事は日本でもクアオルトへの関心の高まりを感じている。バートナウハイム市の取り組みには学ぶべきところが多くあると期待しており、クアオルトを通じた国際交流に向けて取り組んでいきたい。と答えました。

岐阜県でも、「健康」や「癒し」をテーマとして、温泉等の地域資源を活用した観光誘客施策を進めております。健康保養地クアオルトの実績は、今後の観光振興に取り組む上で学ぶべき要素も多くあると考えます。



## ■バートナウハイム市内の視察

時間：7月23日（火）16：30～18：30

場所：クアパーク・グラディエアワーク、パーク・クリニック病院

### 【概要】

バートナウハイム市内を視察しました。

心臓疾患や神経疾患に効果がある塩分を含んだ炭酸泉として、世界的に有名な温泉リゾート地です。街の中心を広大なクアパーク（療養のための公園）が占めており、数ヶ所に、高さ15mほどの黒くて長いトンネル状のザリーネがあります。これは古い時代の製塩装置で両壁は樹木の小枝を幾重に編み重ね、汲み上げられた塩水が小枝の網目にぶつかりながら、滴り落ちてきます。足元の水路に落ちる頃には高い濃度の塩水になっており、かつてはその塩水を煮詰めて「塩」を造っていましたが、後にザリーネのトンネル内の空気には大量のマイナスイオンが含まれていて、健康回復を助けることが医学的に証明され、「治療の装置」として活用されるようになりました。

パーク・クリニック病院は、身体、精神双方のリハビリを行うための各種設備を持つ私立病院で療養の機能とホテルの機能を併せ持ち、質の高い食事を提供しています。食堂はレストランの雰囲気、食事が美味しいことが療養には重要と考えています。

温泉を利用した療養は日本でも古くから行われており、お互い学ぶ点が多いと考えます。共通点の多いバートナウハイム市とは今後も相互交流を進めることで、更なる発展につながることを期待しています。



## ■バートキッシンゲン市長等との面談

時間：7月24日（水）10：45～12：00

場所：バートキッシンゲン市庁舎

相手：ディルク・フォーゲル バートキッシンゲン上級市長、トーマス・ライナー バートキッシンゲン第三市長、シルヴィー・トルマン バイエレン州立スパ バートキッシンゲン有限会社スパ・マネージングディレクター、クラウス・ヘルマン DRVルーン病院長 マティアス・ハイド グランドホテル・カイザーホフ・ヴィクトリア支配人 ほか

### 【概要】

バートキッシンゲン市のフォーゲル市長と面談しました。

フォーゲル市長の歓迎の意に対し、知事からはドイツで最も美しいといわれ、ユネスコ世界文化遺産にも登録されているクアオルトがいかに素晴らしいか学びたいと述べられました。

市長はお互い共通点も相違点もある。ドイツのクアオルトの特徴をどのように岐阜県に取り入れていくかを考えることが大切であると述べられました。

ドイツ有数の温泉保養所があるバートキッシンゲン市は岐阜県との共通点も多く、クアオルトに関しては学ぶ点も多くあると考えます。岐阜県との相違点を整理した上で何をどのように取り入れていくのかを検討することはとても重要なことで、今後、相互交流を深めながら具体的に施策が進められていくことを期待します。



## ■バートキッシンゲン市内の視察

時間：7月24日（水）12：00～15：40

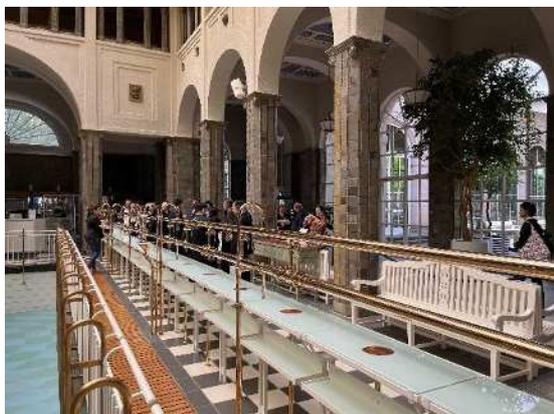
場所：クアハウス、DRVルーン病院

相手：クラウス・ヘルマン DRVルーン病院長 ほか

### 【概要】

「クアハウス」は、緑あふれる庭園に囲まれた美しい意匠の歴史的建造物です。大規模なコンサートホールや図書館、土産物店などで構成される複合娯楽施設となっており、館内に患者や観光客が7種類の鉱泉水を飲むことができる飲水施設があります。資格を持つ専門スタッフの指導の下、塩分や鉄分の濃度が異なる鉱泉水を医師の処方のもとで飲みながら、音楽を聴き散歩ができるようになっています。

DRVルーン病院は、全国からうつ病患者が集まる施設で入院希望者は多く、半年待ちの状況です。療養者は10人一組で生活をともにしながら療養し5週間を目途に社会復帰します。療養は社会から隔絶して行うのではなく、リハビリの合間に散歩をし、街に出かけカフェやコンサートに行くなど、社会と関わりながら進めていきます。精神の病は社会の責任。療養により社会に戻ることが病院の役割という考え方で療養がすすめられています。



## ■ フランクフルト市内の視察

時間：7月25日（木）10：15～12：00

場所：ゲルバーミュエレ埠頭、アイゼルナー橋マンカイ、グリースハイム閘門

### 【概要】

ヨーロッパの金融センターとして有名なフランクフルトは欧州中央銀行をはじめ多くの金融機関の本社があり、世界的に有名な見本市が開催される近代的な一面がある一方で、旧市街周辺には神聖ローマ帝国時代からの歴史的に重要な建造物もあり、その新旧のコントラストが特徴の珍しい街です。

またライン川の川岸には遊歩道が整備され、日常の憩いだけでなく移動遊園地など季節イベントなども開催されるなど、河川環境も守りながら街の発展に繋げています。観光面でも、レーマー広場のすぐ近くにはクルーズ船の発着場があり、クルーズ会社も数社あります。ライン川からゆっくりとフランクフルトの街並みを楽しむことができ、観光客に人気となっています。河川環境を守りながら発展し、観光名所としての役割も果たしている点など、岐阜県と共通点も多くあります。今後も情報交換しながら河川を中心とした新たな魅力の創出につながる取組を進めていけるよう、周辺地域と協力しながら発信していきたいと思えます。



## 6. 総括

今回は、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の一環としてウズベキスタン・ドイツを訪問した知事に同行し、調査を行いました。

ウズベキスタンでは、日本の知事として初の同国訪問となり、岐阜県とサマルカンド州、岐阜大学とサマルカンド国立医科大学の2層での交流に向けそれぞれ交流意向書を取り交わすことができました。これは大変大きな成果であり、まさに岐阜とサマルカンドの関係の重要な第一歩となる場面に立ち会うことができたことを光栄に思います。今後、相互往来が活発化し、本県の魅力発信と交流が進化するために、私たちも協力していきたいと思えます。

ドイツでは、主に林業・木材産業振興に関する調査を目的にこれまで県議会議員が訪問させていただいている国であります。今回はクアオルトをはじめ療養をテーマとした温泉等の地域資源活用や観光ビジネス分野について調査しました。特にパーク・クリニック病院では、3か月無料でしっかりとした治療が行われており、再入院がほとんどないとの事でした。日本と健康保険制度の違いがあるもののその取り組みは大変興味深いものであります。

また、情報発信や周辺地域と協力したマーケティングなど誘客施策面でも学ぶべき点が多く、大きな成果が得られました。特にライン川周辺の「河川環境」と「観光施策」のどちらも活かして発展させる取組みは岐阜県と共通点があり、参考になる部分が多々ありました。これを踏まえて今後、周辺地域と協力してプロモーション活動を継続し、木曾川中流域の魅力向上や新たなブランド創出に繋げていく努力を行ってまいります。

今回の視察の経験を活かし、今後の岐阜県の国際交流や観光誘客に係る政策の立案及び事業の取組みの推進に寄与していきたいと思えます。